

# 視察報告書

令和 6 年 2 月 5 日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会  
(代表) 議員 田村閑美

政務活動費により行政視察を実施しましたので、次のとおり報告します。

## 記

1 視察期間 令和 6 年 1 月 30 日 (火) から 令和 6 年 2 月 1 日 (木) まで

2 視 察 先 (1) 小田急電鉄株式会社  
(2) 三条市  
(3) 十日町市

3 視察議員名 田村閑美

4 面 会 者 添付書類 (1) 面会者名刺一覧参照

5 視察目的 (1) 暮らしよし倉吉プロジェクトの取組について  
(2) 三条市子ども・若者総合サポートシステムについて  
(3) 越後妻有里山現代美術館と大地の芸術祭について

6 視察の経過及び感想  
別紙のとおり  
(小田急 (株)、三条市、十日町市)

7 添付書類

(1) 面会者名刺一覧(小田急 (株)、三条市、十日町市)

(2) 三条市視察説明資料(表紙の写し)

(3) 十日町市視察説明資料(表紙の写し)

(4) 視察時写真(小田急 (株)、三条市、十日町市)

要した経費： 1 人合計 91,380円

## 視察の経過及び感想

### 「くらしよし倉吉プロジェクトの取組について」

小田急電鉄での視察にて初めて小田急のオフィスに入らせて頂きましたが、多様な働き方ができるオフィスの作りでした。久々にお会いした倉吉市の担当者と、初めてお会いするデジタル事業創造部課長、阪川担当者の2人から事業概要と進捗状況を聞かせて頂きました。スケジュールが忙しいようで45分間と言う短時間だったので、残念ながらこの事業についてしっかり理解ができないままですが、現在3期生まで進んでいる人材育成を行っている事や、「倉吉市まち、ひと、しごと創生総合戦略について」本市に提言頂いてる事等を聞く事ができました

ひとを育てる事業では65歳の方もメンバーでいらっしゃる事の事、推薦もありとの事でした。

ひとを育てると言う事業は大切だと思う反面、時間もかかり結果もわかりやすく正解が不明確な事業であるので、実施内容をしっかり聞き定期的に報告をして頂きたいと感じています。

また、発行した倉吉本については一定の評価が得られるものの、この本を活かす仕組みができていないのか、いないのか良くわかりません。そしてバーチャル倉吉による関係人口の創出も未だよくわからない現状です。現在5年計画のうちの1年が経過したわけですが、今後結果や成果も少しずつ現れて来る事だと期待しています。

ひとが育ちまちを活かす事ができるようになる日を待ち遠しく、議員としてもチェックしながら応援したいと思っています。

## 「三条市こども、若者総合サポートシステム」

この度、人生初めての新潟入りでした。天気にも恵まれ暖かい日でした。こどもの育ちサポートセンター長の相場氏から準備頂いた資料にてしっかり説明を頂き、それについて、質問をさせて頂きました。本市では子ども家庭課の所管で進められてる内容が、三条市では教育委員会にて産まれた時から35歳まで手厚く手当てされてます。それに伴い重層的支援も行いやすく、幼少期からの子育て、教育の内容が充実し各家庭との連携や支援も進みやすいとの事でした。

中でも子ども、若者総合サポートシステムでは虐待防止部会、障がい支援部会、問題行動部会、若者支援部会の4つの部会があり「子ども何でもチャット機能」も設けており、気軽に幅広く相談できる体制も作られていました。

また、妊娠、出産期から青年期の35歳までのライフステージに応じた切れ目のない子育て支援を受けられるよう、こどもの育ちサポートセンターが必要なサポートを受けられるよう関係機関の調整も行っています。

そして三条っ子発達応援事業という発達支援も構築されたサポートシステムでした。福祉課に戻した方が良いと言う市議会議員もいるようで、良い事ばかりではないにしても、踏み込んだサポート体制は子どもを育てる環境として、徹底していてとても素晴らしいものだと感じます。この三条市においても少子化は進んでおり、保育園、小学校の統合再編も進んでるようです。本市においても子どもに寄り添った支援を大切に進めたいと感じます。

(余談)

ふるさと納税の売り上げが50億円との事、内容を伺えばSnow peakという有名なアウトドア商品販売会社の本社がありそこでの売り上げが多いとの事。

また、ランチと夕飯に利用した燕三条地場産業振興センター内にあるBitというイタリアンレストランにて食を通して地域を盛り上げる内容を斬新な手法(プロジェクションマッピング)紹介頂き、スタッフのクオリティの高さにも感激しました

小田急の人を育てる事業を思い出し、このように実る事をリアルに願いました。

## 「越後妻有里山現代美術館と大地の芸術祭について」

最終日の十日町市は雪国でした。地元の方に伺うと今季、積雪量は少ないとの事でした。

駅に到着すると十日町市の議会事務局主事の綱さんの手配で目的地の美術館まで車の送迎をして頂きました。雨も降っていたのでとてもありがたいもてなしでした。

この視察に至った経過は、まち・ひと・しごと事業の小田急担当者の講演で、全国でも話題になっている「越後妻有里山現代美術館モネ」を推薦されていたので、鳥取県立美術館の開館1年前でもあり、現場周辺を含め視察意義ある場所ということで選択しました。

この美術館のすぐ隣には土産物を沢山販売してる道の駅があり、この地域の特産へぎ蕎麦料理を中心とした「つまり食堂」飲食店も併設されており、美術館だけを目指して来た私達にとっては便利でありたい施設であり、このような場所は本市も県美周辺に必要で、なくてはならない場所だと痛感しました。

地域活性事業の柱になり、この美術館を超有名にした、「大地の芸術祭、越後妻有アートトリエンナーレ」の有名な数ある現場には行けませんでした。十日町市産業観光部文化観光課大地の芸術祭実行委員会事務局長、斎喜氏の饒舌な説明と会館を一周しながらの説明を頂き、あらためて地域を活かす人間力の大切さを感じました。

今回、拠点である越後妻有里山現代美術館モネに行くまで知りませんでした。館内は温泉とラジオステーションがある現代美術館です。平日のせいか来館者はとても少なく館内中央が大きく吹き抜けになってるエントランス場所は雪が積もっておりそこに描かれている青い空の絵画は目にする事はできませんでしたが、それを囲む回廊が美術館になっておりインパクトある建物でした。また、運営面で加わっているこの美術館を動かす力になっている北川フラム氏ひきいるNPO法人越後妻有里山協働機構の所在は新しい美術館運営のありかたで説明を聞き初めて知ったとても感動する内容でした。館内のミュージアムショップもこのNPOの運営でした。

地域と人とアートと再生と経済を私なりにリアルに感じさせて頂き十日町のありのままを活かしたアートの在り方がすごく刺激になり、全国から注目を浴びてる事に納得しました。本市においても人口減少、空家、廃校等当てはまる地域性で、本市に開館する美術館は鳥取県民立と銘打って進めている運営方針。山陰の芸術祭の妄想が目浮かぶくらい可能性を力強く思いました。

また、意外に感じたのが、最寄り新幹線駅の越後湯山駅や十日町駅に、この越後妻有里山現代美術館の目立った案内やコマースが見当たらず、美術館の玄関である場所なのにと、思っていたイメージとの違いに現場に行かなければ分からない事を沢山気付かせて頂きました。

議員になる前、県立美術館を考える検討委員を6年にも渡り勤めさせて頂いた私としても、多様な目と想いを持ち今回の視察を参考に開館目前の県立美術館を育てて行きたいと熱い気持ちでいっぱいです。このタイミングでこの美術館を視察できた事は議員として大きな意義あるものと感じており、本市の発展のためしっかりチェックし、良いと思われる事をどんどん進めて行きたいと考えさせられました。早速、県美応援団としても開館準備ボランティアに参加する予定です。

添付書類

(1) 面会者名刺一覧

小田急株式会社



デジタル事業創造部  
課長  
IFLATSチーフプロデューサー

**阪川 尚**

小田急電鉄株式会社  
〒163-0705  
東京都新宿区西新宿2-7-1 私書箱 第5117号  
携帯 080-9984-8155  
hisashi.sakagawa@odakyu-dentetsu.co.jp  
<https://iflats.org/>

小田急の駅、車両のポスターを再生した紙を使用しています



デジタル事業創造部  
課長代理  
IFLATSフェロー

**小笠原 年宏**

小田急電鉄株式会社  
〒163-0705  
東京都新宿区西新宿2-7-1 私書箱 第5117号  
携帯 070-7363-5376  
toshihiro.ogasahara@odakyu-dentetsu.co.jp  
<https://iflats.org/>

小田急の駅、車両のポスターを再生した紙を使用しています

三条市



三条市教育委員会事務局  
子どもの育ちサポートセンター  
センター長

**相場 徹**  
Aiba Toru

☎ 0256-45-1114  
☎ 0256-45-1130  
✉ [kodomosupport@city.sanjo.niigata.jp](mailto:kodomosupport@city.sanjo.niigata.jp)  
〒959-1192 新潟県三条市新堀 1311

十日町市



課長  
事務局長



十日町市 産業観光部 文化観光課  
大地の芸術祭実行委員会事務局

**斎喜 直**  
Saiki Tadashi

〒948-0079  
新潟県十日町市旭町 251 番地 17  
十日町市総合観光案内所内  
TEL.025-757-2637 FAX.025-757-2285  
E-mail: [saiki1326@city.tokamachi.lg.jp](mailto:saiki1326@city.tokamachi.lg.jp)  
URL: <http://www.echigo-tsumari.jp/>



十日町市  
議会事務局 議事係

主事 **網 翔 太**

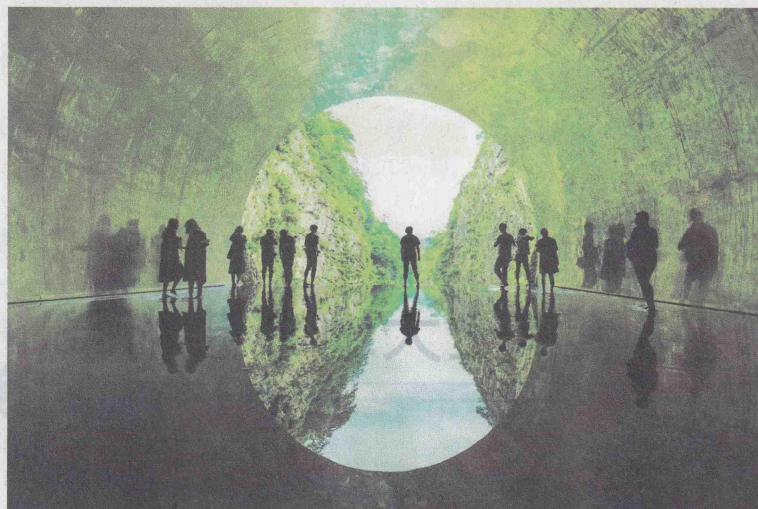
〒948-8501  
新潟県十日町市千歳町3丁目3番地  
TEL (025) 757-3119  
FAX (025) 757-5999  
E-mail [tsuna1724@city.tokamachi.lg.jp](mailto:tsuna1724@city.tokamachi.lg.jp)

大地の芸術祭 Tunnel of Light(マヤンソング/MADアーキテクツ)

(2) 三条市視察説明資料（表紙の写し）



(3) 十日町市視察説明資料（表紙の写し）



大地の芸術祭視察説明資料

## 芸術祭と地方創生

新潟県十日町市産業観光部  
文化観光課 芸術祭企画係

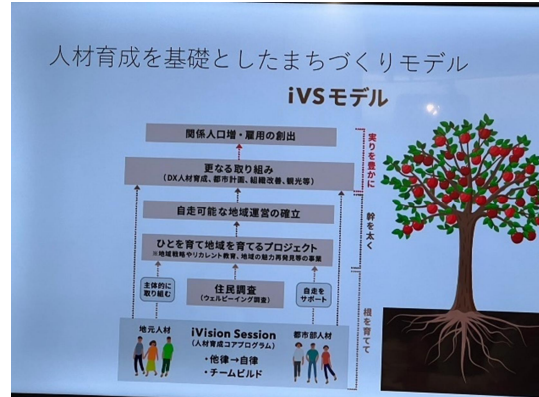
Contents (目次)

1. 越後妻有と大地の芸術祭
2. ARTによる【再発見】
3. 大地の芸術祭がもたらしたものの
4. 大地の芸術祭による関係人口の増加
5. 結びに「地域再生」から「地方創生」へ

芸術祭  
妻有

(4) 視察時写真 (小田急(株)、三条市、十日町市)

小田急株式会社



三条市



十日町市

